

やまなみ連なる中国道 5 時間のドライブを経て、1 時 20 分予定通り大会会場のスマイルホテル米子に到着しました。会場や来賓控室も十分で参加者への対応等々も手際よく、鳥取支部関係者の周到的な準備が感じられました。今回の大会には中四国ブロックから常連の 5 県（山口、広島、島根、鳥取、香川）の他、愛媛と初参加の高知県も加え合計 7 支部が参加し、今後の発展に期待を持たせるものでした。



恒例の活動状況が各支部長から報告され、総会への出席者が少ない等の課題も挙がっていました。山口県支部からは卒 10 年以下の出席促進支援制度を対象会員に周知した事などを説明した。

来賓出席された小宮学長は図表や数値を用い、大学の状況推移を分かりやすく説明され、最近 CIT が受験生や関係者から高く評価されている背景の一端を窺い知ることが出来ました。



一般参加も含め 70 名近くが参加した学術講演会では林原教授がロボット・AI 融合の近未来像について話された。我ながらこの年でよかったなああー、今後国を背負って立つ方々の奮闘に声援を送ります。鳥取大会が盛況裏に終わり、いよいよ懇親会です。美味しい料理で舌鼓と賑やかな懇談で大会成功を裏打ちする場となりました。最後に山口県支部長からブロック大会に厚い理解を頂く学長はじめ同窓会本部関係者並びに鳥取県支部関係者等への謝辞と、来年山口での再会を約束し一本締めで場を締め括りました。

